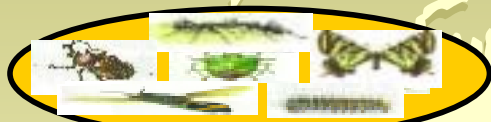


2002昆虫産業創出ワークショップ

～21世紀最大の未利用資源(昆虫)が日本発シルクロードをつくります～

主催：(独)農業生物資源研究所
 共催：(社)農林水産先端技術産業振興センター
 (社)農林水産技術情報協会
 後援：農林水産省農林水産技術会議事務局
 植物防疫全国協議会



21世紀最大の未利用生物資源

- ・人類が利用できなかった多様な有用物質を生産
- ・180万種(動物全体の約90%)

人工臓



人工皮膚

抗菌物質



微粉末化した絹糸を用いたシルク100%の化粧品 顔オードレマン

実用化

人類初の農業用「ゲノム創薬」



実用化



金属アレルギーのないシルク微粉末コーティングの時計 セイコーエプソン製

実用化



世界中の動物病院で使われるネコインターフェロン 東レ製

産業競争力を決定づける昆虫3大研究

農業用・衛生害虫用「ゲノム創薬」



害虫のみ殺虫

昆虫工場



様々な有用タンパク質

材料加工



絹タンパク質製の酸素透過膜(左)と家庭用ラップ(右)

日時：平成14年8月8日(木)
13:30～17:00

場所：農林水産省本館7階講堂
東京都千代田区霞が関1-2-1

- 内容：
- 第1部 (講演)
1. なぜ、「昆虫・テクノロジー」か
中部大学副学長 山下興亜
 2. ゲノム情報を用いた医薬品開発
武田薬品工業医薬研究本部開拓第一研究所 森正明
 3. カイコを利用したヒト・コラーゲンの生産
広島県産業科学技術研究所 冨田正浩
 4. 昆虫材料の特性を生かした高機能新素材の開発
東京農工大学工学部生命工学科 朝倉哲郎
 5. 農業生物資源研究所の研究成果
昆虫産業創出プロジェクト推進リーダー 川崎達次郎

第2部
昆虫3大研究のブースを用意しており、研究内容を紹介するとともに民間企業の皆様のご質問、共同研究等のご提案にお答えします。

参加費：無料

参加申し込み・お問い合わせ先

(昆虫産業創出ワークショップ事務局) 近藤惟義 (電話03-3586-8644, FAX03-3586-8277, kondo@staff.or.jp)
 社団法人 農林水産先端技術産業振興センター 〒107-0052 東京都港区赤坂1丁目9番13号 三会堂ビル7階

独立行政法人 農業生物資源研究所 企画室 木内 信 (電話0298-38-7438, FAX0298-38-7416, mkiuchi@affrc.go.jp)
 社団法人 農林水産技術情報協会 参与室 岡田利承 (電話03-3667-8931, FAX03-3667-8933, tokada@afftis.or.jp)